

■ 救急救助編 ■

令和2年中の救急出動件数は、3,434件で前年(3,732件)と比較すると298件減少、搬送人員は、3,234人で前年(3,516人)と比較すると282人減少しました。また、救助出動件数は62件で、前年(47件)と比較すると15件増加しました。

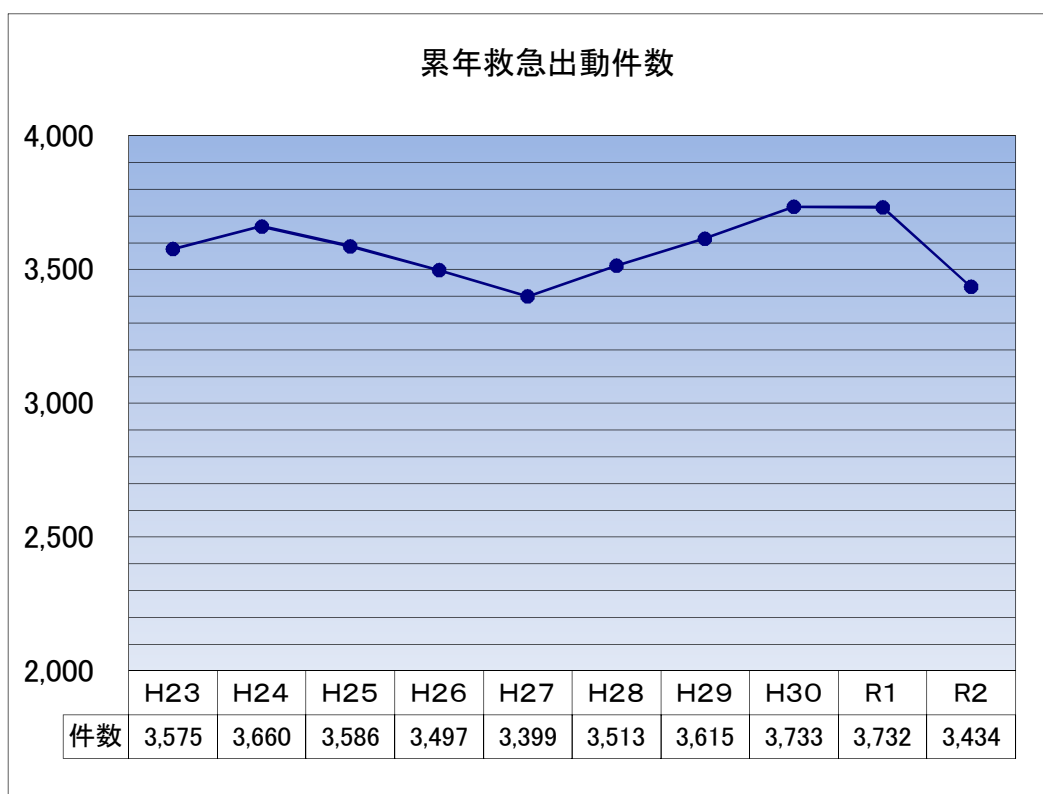
複雑多様化する社会情勢や、近年多発する自然災害、ますます進展する高齢化社会の中、救急救助体制を充実強化することで種々の災害事象に適切に対応し市民ニーズに答えられるよう努めています。



救 急 活 動

高齢化、複雑多様化する社会情勢の中、市民の救急要請に対応するため、最新の資器材を装備した高規格救急車を配備し、あらゆる救急事故に備えています。

救急救命士は、医師の具体的な指示のもと、気管挿管等による気道確保、静脈路確保、薬剤投与、ブドウ糖の投与など高度な救命処置を実施し、更なる救命率の向上を目指しています。



救急出動状況

■ 救急出動状況

区分 事故別	出動件数	搬送人員						不搬送件数
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	計	
合計	3,434	75	528	1,167	1,464		3,234	227
火災	2			3			3	
自然災害								
水難	7	2			1		3	4
交通事故	245	4	17	27	195		243	25
労働災害	38		2	9	26		37	1
運動競技	10			3	7		10	
一般負傷	505	3	113	126	240		482	23
加害	13			1	10		11	2
自損行為	17	2	2	2	2		8	9
急病	2,270	64	270	841	956		2,131	142
その他(転院搬送等)	327		124	155	27		306	21

■ 救急出動状況（月別）

事故別 月別	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
												転院搬送	医師搬送	その他
合計	3,434	2		7	245	38	10	505	13	17	2,270	307	3	17
昨年比	△ 298			△ 2	△ 36	11	△ 17	△ 54	△ 4	△ 11	△ 155	△ 22		△ 8
東署	1,913			5	123	25	5	276	9	11	1,283	165	2	9
西署	1,521	2		2	122	13	5	229	4	6	987	142	1	8
1月	305			2	15	2	3	44	1	1	211	23	1	2
2月	292				22	5	1	53			179	29		3
3月	256			1	9	1		49	1		170	23		2
4月	220			1	12	1		39		2	144	21		
5月	242				24	3		38	1	2	152	19		3
6月	288				23	4	1	40	1	1	187	30		1
7月	296				18	1		47	5	2	195	28		
8月	337	1			24	8	1	40	1	1	233	28		
9月	310			2	14	4	2	40	1	3	214	28	1	1
10月	287				27	3	1	46		2	183	24		1
11月	290				26	2	1	39	2		187	29	1	3
12月	311	1		1	31	4		30		3	215	25		1

■ 救急出動状況（累年比較）

事故別 年別	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
												転院搬送	医師搬送	その他
平成28年	3,513	1		6	293	26	33	515	10	24	2,305	283		17
平成29年	3,615	2		3	303	27	27	561	13	20	2,307	330	1	21
平成30年	3,733	1	1	14	292	32	27	561	25	34	2,407	303	1	35
令和元年	3,732	2		9	281	27	27	559	17	28	2,425	329	3	25
令和2年	3,434	2		7	245	38	10	505	13	17	2,270	307	3	17

救急出動状況

■ 年齢別搬送人員

年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	年齢不詳	合計
	生後28日以内	生後29日以上 満7歳未満	満7歳以上 満18歳未満	満18歳以上 満65歳未満	満65歳以上		
火災				1	2		3
自然災害							
水難				1	2		3
交通事故		9	28	122	84		243
労働災害				31	6		37
運動競技			7	3			10
一般負傷		24	10	58	390		482
加害				10	1		11
自損行為				6	2		8
急病	1	40	33	455	1,602		2,131
その他	7	3	5	64	227		306
合計	8	76	83	751	2,316		3,234

■ 曜日別出動状況

曜日	合計	日	月	火	水	木	金	土
件数	3,434	458	535	475	509	467	521	469

■ 時間別出動状況

時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16
件数	174	116	140	246	418	444	383	362
時間	16～18	18～20	20～22	22～24	合計			
件数	377	349	249	176	3,434			

■ 病院別搬送状況

病院別	市内			市外			合計
	救急告示病院	その他の病院	その他の場所	救急告示病院	その他の病院	その他の場所	
搬送人員	3,147	37		50			3,234

応急手当上級・普通救命講習及び救急講習実施状況

■ 応急手当上級・普通救命講習及び救急講習実施状況

舞鶴市では、救急出動の増加、また、心停止、呼吸停止や大量出血などの一刻一秒を争う傷病者が発生した場合に備え、救命効果の一層の向上を目的として、その現場に居合わせた市民（バイスタンダー）による応急手当を普及するため、応急手当上級救命講習を年1回、応急手当普通救命講習を定期的に行い、1人でも多くの市民に応急手当等の知識を取得していただくために積極的に取り組んでおります。

なお、応急手当上級・普通救命講習を修了された方には『救命講習修了証』を発行し、応急手当に対する市民の意識高揚に努めています。

		応急手当上級救命講習 (8時間)	応急手当普通救命講習 (3時間)	救急講習	計
平成11年中	講習回数(回)	/	21	52	73
	受講人数(人)		360	2,197	2,557
平成12年中	講習回数(回)		29	52	81
	受講人数(人)		459	2,348	2,807
平成13年中	講習回数(回)		23	70	93
	受講人数(人)		483	2,734	3,217
平成14年中	講習回数(回)		32	74	106
	受講人数(人)		603	2,417	3,020
平成15年中	講習回数(回)		20	54	74
	受講人数(人)		409	2,075	2,484
平成16年中	講習回数(回)		21	101	122
	受講人数(人)		532	3,266	3,798
平成17年中	講習回数(回)		24	77	101
	受講人数(人)		351	2,780	3,131
平成18年中	講習回数(回)		28	75	103
	受講人数(人)		592	2,637	3,229
平成19年中	講習回数(回)		1	59	89
	受講人数(人)		42	916	3,720
平成20年中	講習回数(回)		1	57	94
	受講人数(人)		38	777	3,931
平成21年中	講習回数(回)		1	37	97
	受講人数(人)		39	442	3,450
平成22年中	講習回数(回)		1	39	89
	受講人数(人)		16	493	3,232
平成23年中	講習回数(回)		1	35	116
	受講人数(人)		11	505	3,686
平成24年中	講習回数(回)		1	41	83
	受講人数(人)		17	541	3,404
平成25年中	講習回数(回)	1	47	120	
	受講人数(人)	24	587	6,894	
平成26年中	講習回数(回)	1	39	120	
	受講人数(人)	31	486	6,341	
平成27年中	講習回数(回)	1	33	118	
	受講人数(人)	26	369	5,558	
平成28年中	講習回数(回)	1	32	118	
	受講人数(人)	29	367	5,626	
平成29年中	講習回数(回)	1	35	129	
	受講人数(人)	16	580	5,940	
平成30年中	講習回数(回)	1	35	134	
	受講人数(人)	25	441	6,319	
令和元年中	講習回数(回)	1	38	131	
	受講人数(人)	17	473	4,666	
令和2年中	講習回数(回)	1	21	57	
	受講人数(人)	12	287	2,528	
計	講習回数(回)	14	746	2,050	2,810
	受講人数(人)	343	11,053	78,142	89,538

(注1) 応急手当上級救命講習：AEDの取扱方法を含めた成人、小児、乳児に対する「心肺蘇生法」「止血法」「傷病者管理法」「外傷手当」等の講義・実習・効果測定を実施しています。

(注2) 応急手当普通救命講習：AEDの取扱方法を含めた成人に対する「心肺蘇生法」「止血法」を中心とし小児、乳児に対する心肺蘇生法を加えた講義・実習を実施しています。

(注3) 救急講習：事業所・防災組織等又はその他の組織から救急に関する講習の要請に応じて応急手当等の基礎講習を実施しています。

救急用資器材の現況

■ 救急用資器材の現況

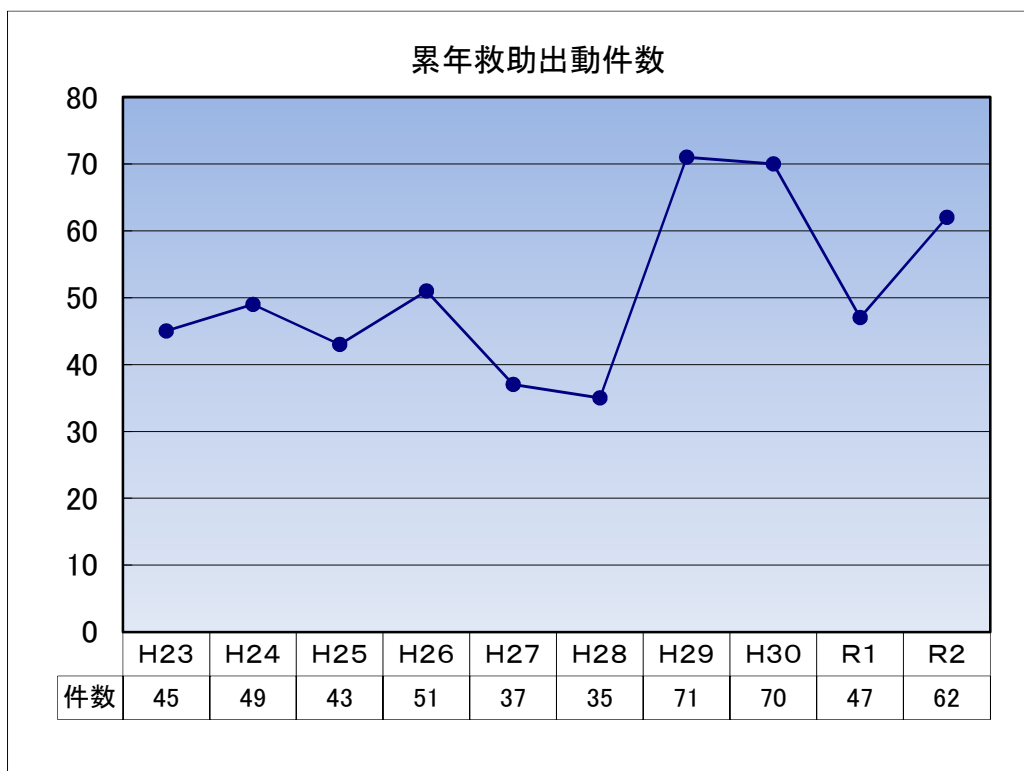
(令和3年4月1日現在)

種 別	資 機 材 名	数 量	形 式 等
搬送用資器材	ストレッチャー	5	
	スクープストレッチャー	10	
	アイソレーター装置	2	
	その他担架	10	
呼吸・循環管理用資器材	車載用酸素ボンベ	16	
	携帯用酸素ボンベ	13	
	自動心肺蘇生器	2	
	手動式人工呼吸器（成人用）	12	
	手動式人工呼吸器（小児用）	10	
	自動式人工呼吸器	5	
	半自動式除細動器	5	
	輸液、薬剤投与セット	一式	
	気道管理用器具	一式	
固定用資器材	全脊柱固定セット（バックボード）	11	
	全脊柱固定セット（その他）	13	
	頸椎固定器具	一式	
	陰圧副子	4	
	その他副子	一式	
観察用資器材	パルスオキシメーター	7	
	心電図計	5	
	血圧計	11	
	聴診器	10	
異物除去用資器材	喉頭鏡	10	
	吸引器	6	
	その他異物除去資器材	一式	
その他資器材	分娩用資器材	一式	
	救出用資器材	一式	
	通信用資器材	一式	
訓練用資器材	心肺蘇生訓練用人形（成人）	12	
	心肺蘇生訓練用人形（小児）	2	
	心肺蘇生訓練用人形（乳児）	6	
	高度救急処置訓練人形	2	
消毒用資器材	紫外線殺菌ロッカー	1	
	オゾン滅菌装置	2	

救 助 活 動

火災や交通事故現場において人命を救助する活動は、消防業務の中でも重要な活動です。火災現場で逃げ遅れた人、交通事故により車内で挟まれたり下敷きとなった人、建物内に閉じ込められている人、工場等で機械に巻き込まれた人などを救出するためには高度な救助技術を必要とします。

これら多種多様な災害に対応するため、日頃から隊員の訓練を行い救助体制の充実強化に努めています。



救助出場状況

■ 救助出動状況（前年比較）

事故別/区分		令和2年			令和元年			比較（△減）		
		出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
合計		62	40	46	47	33	31	15	7	15
火災	建物				1	1	1	△ 1	△ 1	△ 1
	建物以外									
交通事故		15	8	15	13	9	8	2	△ 1	7
水難事故		4	3	3	6	4	4	△ 2	△ 1	△ 1
風水害等 自然災害										
機械による 事故		2	1	1				2	1	1
建物等による 事故		21	19	18	14	12	11	7	7	7
ガス及び 酸欠事故					1			△ 1		
破裂事故										
その他の 事故		20	9	9	12	7	7	8	2	2

■ 救助出動状況（月別）

事故種別 月別件数	出 動 状 況										活動状況		
	火災		交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害	機 械 に 事 よ る 事 故	建 物 に 事 よ る 事 故	ガ 斯 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	活 動 件 数	救 助 人 員
	建 物	建 物 以 外											
合 計			15	4		2	21			20	62	40	46
1 月			2				2			1	5	4	11
2 月			2				3			2	7	6	5
3 月				1			2			4	7	5	5
4 月			1				2			3	6	3	3
5 月			3							3	6	2	2
6 月						1	2			2	5	2	2
7 月			3				1			1	5	2	2
8 月			1							3	4	2	2
9 月				1		1	2				4	3	3
10月			2	1			4				7	5	5
11月							2			1	3	3	3
12月			1	1			1				3	3	3

■ 救助出動状況（累年比較）

事故種別等 年別数	出動件数	事故種別										合計	
		救助人員	火災		交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害	機 械 に 事 よ る 事 故	建 物 に 事 よ る 事 故	ガ 斯 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故		そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外									
平成28年	出動件数（件）	1		10	4			11	1		8	35	
	救助人員（人）	1		3	4			9			5	22	
平成29年	出動件数（件）	2		19	1	7	2	20	1		19	71	
	救助人員（人）	2		17		8	1	13			10	51	
平成30年	出動件数（件）			16	9	7		21	1		16	70	
	救助人員（人）			9	5	20		13	1		8	56	
令和元年	出動件数（件）	1		13	6			14	1		12	47	
	救助人員（人）	1		8	4			11			7	31	
令和2年	出動件数（件）			15	4		2	21			20	62	
	救助人員（人）			15	3		1	18			9	46	

救助用資機材の現況

■ 救助用資機材の現況

(令和3年4月1日現在)

種 別	機 材 名	数 量	形 式 等
一般救助用器具	かぎ付梯子	2	チタン製3m級
	3連梯子	1	アルミ製9m級×1
	空気式救助マット	1	スーパーソフトランディング
	救命索発射銃	1	ミロクM-300型
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	スキマジャッキセット
	可搬ウインチ	2	チルホール
	油圧プレッダー	2	ルーカス：1、ウェーバ：1
	マット型空気ジャッキ	1	一式
	ラムシリンダー	1	
	ピンチバール	4	
切断用器具	油圧切断機	2	ルーカス（大型：1、コンピツール：1）
	エンジンカッター	1	
	酸素溶断機	1	プライムカット
	チェーンソー	1	
	空気鋸	1	エアーソー
	鉄線カッター	1	
	空気切断機	1	クイックカット
	電動切断機	1	レシプロソー
破壊用器具	万能斧	3	
	ハンマー	1	
	削岩機	1	エンジン式（兼用）
	ハンマードリル		
	携帯用コンクリート破壊器具	1	ストライカー
測定用器具	可燃性ガス測定器	1	
	有毒ガス測定器		
呼吸保護用器具	空気呼吸器	8	
	送排風機	1	
隊員保護用器具	耐電服一式	11	
	耐電手袋	8	
	耐電長靴	5	
	防毒マスク	5	
	防塵メガネ	5	
	防塵マスク	5	
水難救助用器具	流水救助器具一式	6	
	救命胴衣	21	内6着は流水救助器具一式のもの（PFD）
	救命浮環	10	
	浮標	1	
	救命ボート一式	1	
山岳救助用器具	バスケット型担架	1	
	登山器具一式	1	
検 索 用 器 具	簡易画像探索機	2	ポーカメ、シースネイク

その他救助用器具	携帯拡声器	5	
	車両移動器具	1	ゴージャック
	アルミ製台車	1	アルキヤリア
	携帯警報機	5	スーパーパス
	緩降機	1	オリロー
	避難梯子	1	金属製折りたたみ梯子
	サバイバースリング	4	
	平担架	1	
	ロープ登降機	2	
	ガラスマスターツール	1	
	ステップチョーク	1	一式
	インパルス消火システム	1	
	発電機	3	
	投光器	4	
	携帯無線機	3	
	ラムサポート	1	
	マンホール救助器具	1	
NBCテロ対応資機材	陽圧式化学防護服	4	
	生物剤検知紙	1	
	有毒ガス検知管	1	
	化学剤検知紙	1	
	防染シャワー	1	
	防染剤散布器	2	

